

文化・社会貢献活動

人々のより豊かで健康的な生活文化への貢献、地域社会での取り組みを通じて、社会と共生する企業であり続けたいと考えています

原点は「利益三分主義」の精神

サントリーの文化・社会貢献活動の原点は、創業者鳥井信治郎の「利益三分主義」の精神にさかのぼります。信治郎は、事業による利益は事業の拡大のみならず、顧客・従業員へのサービス、そして社会への還元に使わなければならないという信念を持ち、社会貢献活動に強い熱意を示しました。1921年には邦寿会を創設し、無料診療院などを開設。のちに社会福祉法人となり現在では特別養護老人ホームや保育園を運営しています。また幼稚園から高等学校までを運営する学校法人「雲雀丘学園」の活動をサポートするなど、さまざまな活動を手がけました。この社会還元精神は現在まで脈々と受け継がれ、「一人でも多くのお客さまに夢と感動をお届けする」という基本方針のもと、美術館や音楽ホールなどの文化施設運営から音楽・学術支援、次世代育成支援、地域貢献活動まで、多彩な活動を展開しています。



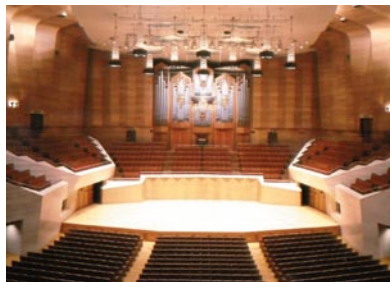
邦寿会が運営している高殿苑とつぼみ保育園

豊かな生活文化への貢献

人々に心の潤いを提供したいという思いから、音楽分野ではサントリーホール、美術分野ではサントリー美術館、サントリーミュージアム[天保山]を運営しています。また、(財)サントリー文化財団、(財)サントリー音楽財団が文化や音楽の発展に尽くしているほか、(財)サントリー生物有機科学研究所を設置するなど、研究開発活動にも取り組んでいます。

● サントリーホール

“世界一美しい響き”をめざし1986年に誕生、2006年に20周年を迎えました。国内外の一流アーティストによる名演奏が連日繰り広げられています。また新たな音楽文化の発展に参画していくために「ホール・オペラ」など多彩な自主企画公演を多数開催しています。



サントリーホール

● サントリー美術館

1961年の開館以来「生活の中の美」をテーマに活動し、2007年春、六本木に新美術館として生まれ変わります。日本の古美術、華麗なガラス工芸品など約3,000点の館蔵品による展覧会をはじめ、多彩な企画で、より身近で楽しく新しい美の世界を提案します。



サントリー美術館外観イメージ (2007年完成予定)

● サントリーミュージアム

【天保山】

1994年、サントリー創業の地、大阪・天保山にオープン。「アート&デザイン」をテーマに企画展示を行う「ギャラリー」や、巨大立体映像の「アイマックスシアター」などの複合文化施設です。ギャラリーでは15,000点を超える著名作家のポスターや、西洋絵画の所蔵品による企画展のほか、アート、工芸、建築など多彩なジャンルの展覧会を開催しています。



サントリーミュージアム[天保山] ギャラリー

TOPICS

サントリーホール20周年 世界に響け20年の夢

東京で初めてのコンサート専用ホールとして開館以来、本年6月までに1,200万人のお客様をお迎えました。20周年をひとつの節目に、これから「世界のサントリーホール」をめざして、より充実した独自の企画を発信していきます。

なお、2006年は20周年記念フェスティバルを軸に、さまざまな公演の開催を予定しています。



● サントリー音楽財団

日本の洋楽の発展と音楽文化の向上に寄与するため、1969年に設立。洋楽の分野で優れた業績をあげた個人や団体を顕彰する「サントリー音楽賞」や、意欲的挑戦的な音楽公演に贈られる「佐治敬三賞」の贈呈をはじめとした、日本人作曲作品の振興など幅広い活動を行っています。



サントリー音楽財団
第4回佐治敬三賞受賞公演「三井の晩鐘」

● サントリー文化財団

創業80周年の記念事業として1979年に設立。社会と文化をめぐる国際的、学際的な研究への助成、優れた人材の育成・援助を行っています。「サントリー学芸賞」や「地域文化賞」の贈呈、学術研究や海外出版の助成やシンポジウムの開催を通じて、世界的学術・文化の交流・発展に努めています。



サントリー文化財団
第27回サントリー地域文化賞 贈呈式

● サントリー生物有機科学研究所

終戦直後1946年に「国民の健康と栄養の向上」の社会寄与を目的に「食品化学研究所」として設立。1979年に現名称に変更し、有機化学を主とした生物、物理を含む生命科学分野の学際的な研究活動を行っています。最先端の機器を用い、「青いバラ」の化学構造研究など基礎科学研究を通じ、サイエンス面での社会貢献を行っています。



最新鋭質量分析装置

▶ 2005年第27回「サントリー地域文化賞」受賞者

受賞団体	
全国太鼓フェスティバル	岩手県陸前高田市
全国かかし祭	山形県上山市
全日本チンドンコンクール	富山県富山市
浅の川園遊会	石川県金沢市
嘉穂劇場	福岡県飯塚市

※ 同賞は、財団創立の1979年に制定。音楽、演劇、美術、歴史・伝統継承、国際交流、コミュニティ活動を対象に、これまで全都道府県にわたって149件を顕彰しています。

「夢」と「感動」を伝える
スポーツ活動を推進

サントリーではかねてよりラグビーとバレーボールの自社チームを組織しアマチュアスポーツへ参加する一方で、地域に根ざしたスポーツ支援活動を行うなど、さまざまな活動を展開してきました。

こうした活動を統括し、より多くの人々にスポーツを通じた「夢」と「感動」をお伝えすべく、2003年には「スポーツフェロウシップ推進部」を設置。スポーツ団体への支援やトップアスリートとのパートナーシップ活動も行いながらスポーツ振興を図るとともに、スポーツにおける次世代育成支援を行うなど、スポーツを通じた社会とのつながりをさらに深めるべく、今後も活動の場を広めていきます。



ラグビー部「サンゴリアス」



バレーボール部「サンバース」



サントリー<キッズ>スポーツアカデミー

文化・社会貢献活動

次世代を担う子どもたちの育成を支援

少子化が進み次世代育成の重要性が高まるなか、これからの時代を担う人づくりも企業の使命であると考えています。子どもたちの健やかな成長を応援する「サントリー〈キッズ・ドリームプロジェクト〉」を展開するほか、子どもたちを取り巻く環境などについての調査研究、情報発信を行う「サントリー次世代研究所」を設立するなど、次世代育成支援の取り組みを立体的に実施しています。

●「子どもたちよ、やってみなはれ」 サントリー 〈キッズ・ドリームプロジェクト〉



2004年から次世代を担う子どもたちを対象にした体験型プログラム「サントリー〈キッズ・ドリームプロジェクト〉」を展開しています。

サントリーが保有する文化施設で子どもたちが優れた音楽や美術に触れる機会を提供するほか、水や水を育てる森の大切さを学ぶ「森と水の学校」「水育(みずいく)」の展開、さらにはトップアスリートとともにスポーツを楽しむプログラムの実施など、多くの体験・体感の場を子どもたちに提供することで、子どもたちの“夢”や“挑戦する気持ち”を応援しています。



サントリー
キッズ・スポーツ
アカデミー



サントリーホール
「こどもの日」コンサート

●サントリー次世代研究所

子どもたちや若者たちの課題に取り組むため、2005年3月「次世代研究所(旧不易流行研究所)」が設立されました。子どもたちや若者の実感を探り、彼らを育む家族や社会環境についての調査研究を進めるとともに、出版などを通じて広く社会に情報を発信しています。



次世代研究所設立記念フォーラムでは、「若者のワークスタイル」についてトークセッションを開催

TOPICS

「水」をテーマにした体験型学習「水育(みずいく)」をスタート

子どもたちに水の大切さを知ってもらうため、「水」をテーマにした体験型学習「水育」を2006年から開始しました。これは、サントリーが独自に開発した学習支援プログラムで、小学校4～6年生のクラス単位で実施する「水育」出張授業と、当社ホームページ上の新サイト「サントリー子ども水育わくわく大百科」を中心に展開しています。



出張授業の様子

TOPICS

子ども環境サミット2005ワークショップを開催

2005年7月26日～29日にかけて愛知県で開催された『子ども環境サミット』(主催:国連環境計画(UNEP))に参加。サントリーは“水”をテーマとしたワークショップ「水の大切さを楽しく学ぼう」を開催し、20名の子どもたちを招待しました。



ワークショップの様子

TOPICS

2006年サントリー「森と水の学校」を拡大

子どもたち対象の森と水(自然)をテーマにした五感による体験学習「森と水の学校」は、2004年にサントリー「天然水の森 阿蘇」(熊本県)で開校以来、約3,000名の方に参加いただいています。2006年はより内容を充実させ、従来の熊本県阿蘇郡で展開していた日帰りプログラムに加えて、南阿蘇外輪山<宿泊プログラム>、山梨県北杜市白州町<宿泊プログラム>を新設しました。このプログラム



サントリー「森と水の学校」

は、「サントリー天然水(南アルプス)」のふるさとである、サントリー白州工場周辺で2日間にわたり実施。水のプロセス、森のプロセス、地元のプロセスを地域の協力を得ながら行い、水の大切さ、水を守り、森を守ることの大切さを伝えていきます。

サントリー「森と水の学校」ホームページ <http://suntory.jp/GAKKO/>

地域社会への貢献

地域の一員として社会と共生する企業であり続けるために、被災地支援やチャリティへの協力はもとより、地域に根ざした貢献活動を展開するなど、幅広い活動を行っています。

●チャリティへの協力

サントリーオープン、サントリーレディスオープンの2つのゴルフーナメントでは、大会活動のチャリティ収入などから毎年それぞれの地元の自治体に寄贈をしています。千葉県印西市には福祉車両を贈っており、兵庫県神戸市へは阪神・淡路大震災直後からこれまでに消防車66台と台車付小型動力ポンプ34台を寄贈しています。



消防自動車の寄贈

●地域と協働して

森林保全活動を実施

全国8ヶ所の水源涵養林で、国や自治体、学識経験者、地域の住民の方々とともに水源涵養活動を進めています。また、2004年から展開している「森と水の学校」では、阿蘇校・白州校がそれぞれの地域の協力を得ながら次世代への環境教育を推進しています。(P.65「自然保護」参照)

●全国の事業所で

環境美化などの活動などを実施

全国にあるサントリーの各事業所では、周辺の清掃をはじめ、自治体が主催するごみ拾いなどの環境美化活動や、夏及び歳末助け合い運動における募金活動などに積極的な参加を行い、地域に根ざした活動を継続的に実施しています。

●従業員の社会貢献活動を支援

社員のボランティア活動を側面から支援するための「ボランティア休暇制度」、社会福祉・環境保全・国際交流の分野で社員が自主的に活動している非営利団体に備品や機材などの購入資金を援助する「ボランティア活動支援制度」を設けています。



多摩川の清掃活動(武蔵野ビール工場)

▶2005年度のボランティア活動

内容	実施事業所など	参加者
事業所周辺、近隣地域の清掃活動	サントリー 11 事業所、グループ会社 8 社	1,513
環境イベント等への参加、協賛	サントリー 4 事業所	117
地域での各種ボランティア活動	サントリー労働組合、グループ会社 1 社	229
歳末・夏の助け合い活動	サントリー全事業所、サントリー労働組合	—
合計		1,859

主な義捐金の拠出

<2005年>

- スマトラ沖地震による津波災害
・・・ 2億円
- 福岡県沖地震災害
・・・ 500万円
- 米国のハリケーン被害
・・・ 5,500万円
- パキスタン北部地震災害
・・・ 1,000万円

<2006年>

- インドネシアジャワ島中部地震災害
・・・ 1,000万円

このほかにも2005年にはサントリーレディスオープンのチャリティ収入から、新潟中越地震及び福岡県沖地震へ各500万円救援金を寄贈しています。

TOPICS

緊急時飲料提供ベンダーの設置推進

災害時に飲料を無償提供できる自動販売機「緊急時飲料提供ベンダー」を開発し、現在設置を進めています。通常は自販機として飲料を販売し、災害などの緊急時には誰でも簡単に飲料を取り出すことができます。行政施設や病院などを中心に230台を設置しており、今後も引き続き普及のために取り組んでいきます。



緊急時飲料提供ベンダー

TOPICS

中国・上海の大学を対象とした奨学金制度「三得利国際集団奨学金」創設

積極的に事業を展開している中国・上海エリアの皆様へ利益を還元するため、奨学金制度を2006年に創設しました。単一企業の奨学金としては最大規模となる総額384万円(約5,500万円)を、2006年から4年間で、上海の将来を担う意欲ある大学生160名に寄贈します。



奨学金の寄贈